

「みんなありがとう」

3月15日に行われた弟子屈中学校（佐藤敬喜校長）卒業式での1コマです。友人や後輩、先生方との別れを惜しみながらも晴れやかな卒業を迎えていました。

（関連記事20～21ページ）

むかしむか史（330）

てしかがが歴史写真館 204



摩周岳山頂から望む摩周湖

カムイヌプリ最初の登頂者？

—松浦武四郎メモリアルイヤー—

松浦武四郎が現在の弟子屈町域を踏査した様子は、「^{くす}久摺日誌」（1861年出版）などからうかがい知ることができます。日付にはあまり頓着しなかったようで、文献ごとに異なる数字が少なからず見られますが、そこはご愛嬌。「一奇の名湖」である摩周湖にやって来たのは旧暦4月6日ごろ、現暦では5月中旬になります。

また雪の残る外輪山を歩く描写は、「すりばちのふちを廻るようなもの」と表現。アイヌから聞いた話として、「昔、大きなクマを射止めたが湖に転がり落ちてしまった。しばらくして、西別川で大きなクマの死骸が見つかった。刺さっていた矢から、以前射止めたクマだと判明。このことから、摩周湖の水が地底をくぐり抜けて、西別川の水源に通じていることがわかった」という内容も収録しています。

カムイヌプリ（摩周岳）登山にも挑戦。途中、頂上までたどり着けるのか不安になり、同行のアイヌに尋ねたところ、「昔からこの山の頂上を極めたという者は一人もいない。あなたが登って行くから付いてきただけだ」という返事を聞いて驚きます。そして、「私は、お前たちが付いてくるから登っていたのだ。それならそうと早く言ってくれればよかったのに」と笑い飛ばして登頂を果たした様子が書いてあります。近年、この記述は脚色されているのではないかという説もあり、彼のみぞ知るエピソードの一つに挙げられています。

いずれにしても、苦難の道をともに助け合って歩み続けた武四郎さんとアイヌの人たちの信頼関係を、私たちは読み取らなければなりません。

てしかがが郷土研究会（斎藤）

2018.4
てしかがが

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/まちづくり政策課 ☎482-2913 ㊟482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

この広報紙には再生紙を使っています

Public relations magazine

2018.4 No.764

主な内容

- 大雨による冠水……………②
- 平成30年度町政執行方針……………④
- 平成30年度教育行政方針……………⑧
- 働くあなたを応援……………⑭
- 第43回児童生徒読書感想文コンクール……………⑱
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……………㉙

てしかがが